DIGITAL REVERBERATOR

取扱説明書

安全上のご注意 ―安全にお使いいただくため―

安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
またお読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
⚠：注意（危険・警告を含む）を促す事項
⊘：決しておこなってはいけない禁止事項
●：必ずおこなっていただく強制事項

⚠警告

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

設置されるとき

- この機器に**水**が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災･感電の原因となります。雨天･降雪時や海岸･水辺での使用は特にご注意ください。

ご使用になるとき

接触禁止

- この機器の上に**水**などの入った容器や小さな**金属**物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災･感電の原因になります。
花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品なども同様です。

分解禁止

- この機器を**改造**しないでください。火災･感電の原因となります。

使用中に異常が発生したとき

プラグをコンセントから抜け

- **煙**が出ている、変な**におい**や**音**がするなどの異常がみとめられたときは、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、異常がおさまるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。異常状態のままで使用すると、火災･感電の原因となります。
- 内部に水などの**異物**が入った場合は、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販売店にご連絡ください。そのままで使用すると、火災･感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜け

- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを**破損**した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。

注意

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。

設置されるとき

- 調理台や加湿器のそばなど、**油煙**や**湯気**が当たるような場所には置かないでください。火災･感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、**不安定**な場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に**温度**が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。
- **湿気**や**ほこり**の多い場所には置かないでください。火災･感電の原因になることがあります。

ご使用になるとき

- オーディオ機器･スピーカーなどの機器を接続する場合は、接続するすべての機器の**電源**を切ってください。
それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のコードを使用して接続してください。

- **電源コード**を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
コードが破損して火災･感電の原因となることがあります。

お手入れについて

- 定期的な機器内部の**掃除**が必要です。長いあいだ掃除をせずに、機器の内部にほこりがたまったままにしておくと、火災や故障の原因となることがあるからです。
掃除および費用については、お買上げ販売店にご相談ください。
掃除の間隔は１年に一度くらい、時期は湿気の多くなる梅雨の前が、もっとも効果的です。

! テレビやラジオの雑音

この機器のデジタル回路から発生するごくわずかな雑音が、近くで使用しているラジオやテレビ側に入ることがあります。そのようなときは、両者を少し離してください。

はじめに

このたびは、YAMAHAデジタルリバーブレーターREV500をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
REV500は、プロレベルの音質をはじめとする卓越した性能を達成しながらも、イージーオペレーションを実現したリバーブレーターです。ホームレコーディングはもちろん、スタジオやPAなどのプロユースにも最適なマシンであり、以下のような多彩な特長を備えています。

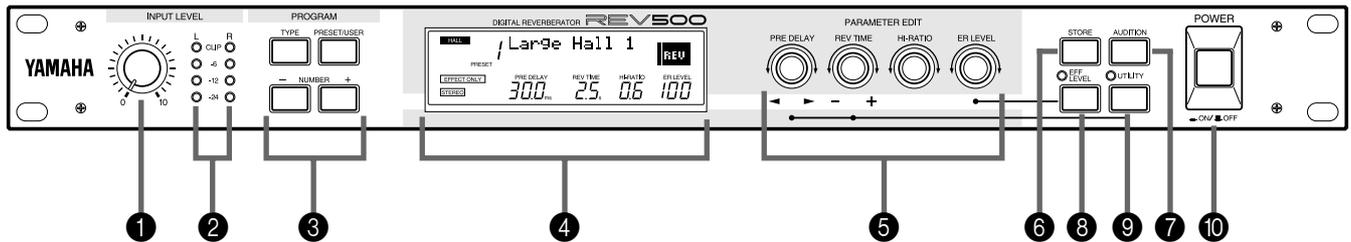
① 入出力ともにフォーン･キャノン両対応のステレオ端子を備えた、完全ステレオ入出力設計。
② 20bit、44.1kHzのA/D, D/Aコンバーターによる高音質･広帯域設計。
③ 高品位なリバーブ効果はもちろん、リバーブとモジュレーションとの複合をはじめ、幅広い音づくりが行える多彩な特殊効果プログラムを搭載。
④ 基本的なパラメーターエディットを、ディスプレイのグラフィック表示を見ながら回転つまみで行える先進のイージーオペレーション。
⑤ MIDI IN / OUT端子を備え、MIDIによるコントロールが可能。

本機の性能をフルに発揮させるとともに、いつまでも支障なくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

■目次

安全上のご注意 …… 2
各部の名称と機能 …… 4
　フロントパネル …… 4
　リアパネル …… 5
操作手順 …… 6
　セットアップと接続 …… 6
　プログラムの選択 …… 6
　AUDITION機能 …… 7
　デモンストレーションの実行 …… 7
エディットモード …… 12
　プログラムのエディット …… 12
　タイトルの設定 …… 14
　プログラムの保存 …… 14
　REV500の初期化 …… 14
ユーティリティモード …… 15
　入出力モードの設定 …… 15
　フットスイッチの設定 …… 15
　AUDITION機能の設定 …… 16
　初期画面の設定 …… 16
MIDIモード …… 17
　MIDIチャンネルの設定 …… 17
　MIDI OUTの設定 …… 17
　MIDIプログラムチェンジテーブルの設定 …… 17
　MIDIバルクダンプの送信 …… 17
仕　様 …… 18
　一般仕様 …… 18
　寸法図 …… 18
MIDIデータフォーマット …… 19
　MIDIインプリメンテーション･チャート …… 22
データシート …… 23
サービスについて …… 裏表紙

各部の名称と機能

フロントパネル

❶ INPUT LEVELつまみ

入力レベルを調整します。

❷ インプットL / Rレベルメーター

LR各チャンネルの入力レベルを表示します。
最大入力時に、CLIP LEDが一瞬だけ点灯するように、INPUT LEVELつまみを調整します。

❸ PROGRAMキー

プログラムを呼び出す時に使うキーです。
TYPEキーでは、プログラムのタイプを選びます。
PRESET/USERキーでは、プリセットプログラム(工場出荷時に設定済みのエフェクトプログラム)エリアか、ユーザープログラム(自分でエディットしたエフェクトプログラム)エリアかを選びます。
そしてNUMBER ＋/－キーによって、プログラムナンバーを選びます。

❹ LCD

エフェクトタイプやプログラムナンバー、そしてパラメーターなどをはじめとする、様々な情報を表示します。
とくにエディットモードでは、リバーブの状況がグラフィカルに表示され、視覚的にもイメージしやすいエディット操作が行えます。

❺ PARAMETER EDIT(PRE DELAY / REV TIME / HI-RATIO / ER LEVEL) コントロール

プログラムの各ダイレクトパラメーターをリアルタイムで設定できます。
また、PRE DELAYつまみはカーソルの移動を、REV TIMEつまみはパラメーターの選択およびパラメーター値の設定にも使います。
パラメーターについては、12ページ「プログラムのエディット」を参照してください。

❻ STOREキー

エディットしたプログラムを保存するときに使います。

❼ AUDITIONキー

本機に内蔵されたデモサウンド(スネアドラムまたはリムショット)を発音させるときに使います。
パラメーターのエディット時に便利です。

❽ EFF LEVELキー＆インジケーター

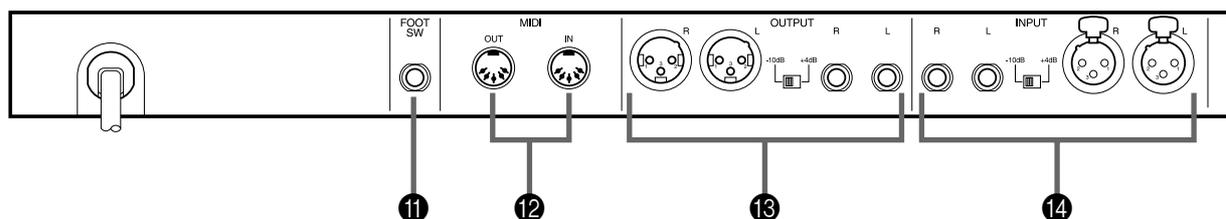
エフェクト音のレベルを設定するときに使います。
キーを押すと、インジケーターが点灯します。

❾ UTILITYキー＆インジケーター

入出力モードの切り替え、MIDIやタイトル(プログラム名)の設定、そしてインターナルパラメーターエディットなどをはじめとする、本機のユーティリティを設定するときに使います。
キーを押すと、インジケーターが点灯します。

❿ POWERスイッチ

このスイッチをオンにすると電源が入ります。

リアパネル

⓫ FOOT SW端子

この端子にフットスイッチFC5(オプション)を接続すると、エフェクト音のミュートとプログラム選択をリモートコントロールできます。

⓬ MIDI IN / OUT端子

本機に接続した外部MIDI機器からのプログラムチェンジメッセージやコントロールメッセージを受信したり、本機からプログラムのバルクダンプデータを外部MIDI機器に送ったりするために使います。

⓭ OUTPUT端子＆レベル切り替えスイッチ

バランス型出力端子で、ミキサーのエフェクトリターン端子や、ギターアンプなどの入力端子に接続します。

XLR-3-32タイプコネクターと1/4"のフォーンジャックが各1組ずつあり、定格出力レベルは＋4dBまたは－10dBで、レベル切り替えスイッチで選択します。

XLR-3-32タイプコネクターとフォーンジャックを同時に使用できますが、バランス入力機器とアンバランス入力機器を混在して接続しないでください。

⓮ INPUT端子＆レベル切り替えスイッチ

バランス型入力端子で、ここに音源を接続します。

XLR-3-31タイプコネクターと1/4"のフォーンジャックが各1組ずつあり、定格入力レベルは＋4dBまたは－10dBで、レベル切り替えスイッチで選択します。

モノラル入力を行う場合は、ユーティリティモードで設定を行い、L端子に接続します。

XLR-3-31タイプコネクターとフォーンジャックの両方から同時には入力しないでください。

操作手順

セットアップと接続

本機をラックマウントするか、安全で安定した場所に設置してください。また、入出力の接続を行う前には、すべての接続機器の電源がオフになっていることを確認してください。REV500をコンセントに接続し、POWERスイッチを押して電源を入れます。

プログラムの選択

プログラムを選ぶには、4つのPROGRAMキーを使って以下の要領で行います。

1. プログラムタイプの選択

TYPEキーを使って、プログラムタイプを選びます。LCDの左上に、現在選ばれているプログラムタイプが表示されます。

2. プログラムエリアの選択

PRESET/USERキーを使って、プリセットプログラムか、ユーザープログラムのどちらかのプログラムエリアを選びます。LCDのプログラムナンバーの下に、現在選ばれているプログラムエリアが表示されます。

3. プログラムナンバーの選択

NUMBER ＋/－キーを使って、使いたいプログラムを選びます。

プリセットプログラムは、各プログラムタイプごとに25種類、計100種類が内蔵されています。

ユーザープログラムエリアには、各プログラムタイプごとに25種類、計100種類を保存することができます。なお、出荷時にはユーザープログラムエリアには、プリセットプログラムと同じデータが入っています。

プログラムの構成は、以下のようになっています。

エフェクトタイプについて

本機はリバーブ単体のエフェクトに加えて、ゲートやフランジャーなどとの組み合わせによる9種類の複合エフェクトの合計10種類のエフェクトタイプを持っています。プログラムを選ぶと、そのプログラムで使われているエフェクトタイプのアイコンがLCD右上にに表示されます。

REV　REVERB（リバーブ単体）

REV-GATE　REVERB→GATE（リバーブをかけてからゲートをかける）

REV-RESO　REVERB→RESONATOR
（リバーブをかけてからレゾネーターをかける）

REV-DFILT　REVERB→DYNAMIC FILTER
（リバーブをかけてからダイナミックフィルターをかける）

REV+CHO　REVERB＋CHORUS（リバーブとコーラスを同時にかける）

REV-CHO　REVERB→CHORUS
（リバーブをかけてからコーラスをかける）

REV-FLG　REVERB→FLANGER
（リバーブをかけてからフランジャーをかける）

REV-SYM　REVERB→SYMPHONIC
（リバーブをかけてからシンフォニックをかける）

REV-TRM　REVERB→TREMOLO
（リバーブをかけてからトレモロをかける）

ECHO-REV　ECHO→REVERB（エコーをかけてからリバーブをかける）

AUDITION機能

AUDITION機能を使うと、本機に内蔵されたデモサウンド(スネアドラムまたはリムショット)を発音させることができるため、プログラムの選択やエディットに大変便利です。

1. あらかじめ、AUDITION機能の設定を行っておきます(16ページ参照)。

2. AUDITIONキーを押し、音を聞きながらプログラムの選択やエディットを行います。

デモンストレーションの実行

※ デモンストレーションモードに入ると、エディット中のプログラムのデータはリセットされ失われますので、必要なデータは、あらかじめストアしてからデモンストレーションモードに入ってください。

1. UTILITYキーを押しながら、AUDITIONキーを押します。デモンストレーションモードに入ります。

2. AUDITIONキーを押します。内蔵のデモサウンドを音源にして、REV500の代表的なプリセットプログラムが試聴できます。

3. もう一度AUDITIONキーを押すと、スタート画面に戻ります。デモンストレーションモードから抜けたい場合は、PROGRAMキーのいずれかを押します。

※ デモンストレーションの音色(スネアドラムかリムショット)は、AUDITION機能の設定(16ページ参照)に準じます。

※ 出力モードは、[ADD DIRECT]をおすすめします(15ページ参照)。

REV500プリセットプログラムリスト

HALL

プログラム No.	タイトル	エフェクトタイプ	内　容
1	Large Hall 1	REVERB	REV500の誇るスタンダードなホール系リバーブです。良好な響きの大ホールをシミュレートし、どんな楽器にも対応します。Large Hall 1はブライトな感じでLarge Hall 2は若干暗めの音色です。
2	Large Hall 2		
3	Empty Hall	REVERB	オーディエンスの入っていない大ホールの雰囲気を出しています。
4	Big Slap Hall	REVERB	初期反射音のアタックが若干強調された明るく広がりのあるリバーブです。
5	Arena	REVERB	アリーナクラスの大きな会場をシミュレートした低域に特徴のあるリバーブです。
6	New Hall	REVERB	明るくパンチのあるリバーブです。
7	Wonder Hall	REVERB	ライトで明るい感じのホールリバーブです。パーカッション系にどうぞ。
8	Dark Hall	REVERB	暗い感じのホールリバーブです。しっとりとしたマイナー系の曲におすすめです。
9	Church 1	REVERB	天井の高い大聖堂をイメージしたリバーブです。Church 1は暗い感じ、Church 2は反射の多い明るい感じの音色です。
10	Church 2		
11	Medium Hall 1	REVERB	スタンダードなミディアムホール系リバーブです。Medium Hall 1は初期反射音の多い明るいサウンドで、Medium Hall 2は少し暗めの密度の濃いサウンドです。
12	Medium Hall 2		
13	Concert Hall	REVERB	ナチュラルな響きのホール系リバーブです。
14	Small Hall 1	REVERB	理想的なスモールホールをイメージしたリバーブです。Small Hall 1は明るくライブな感じで、Small Hall 2は少し暗い感じの音色です。
15	Small Hall 2		
16	Gothic Hall	REV+CHO	コーラスを加えることによってうねりのあるアタックを持たせたホールリバーブです。ボーカルやソロ楽器にどうぞ。
17	Ballade Voc 1	REVERB	スローテンポのボーカル用の長めのホール系リバーブです。Ballad Voc 1は明るく密度の濃いリバーブで、Ballad Voc 2は暗めで少し密度の粗い音色です。
18	Ballade Voc 2		
19	Rev for Pads	REV→FLG	超高域でかすかにうねるフランジャーをかけてスペースサウンドをねらったロングリバーブです。パッド系にどうぞ。
20	Ensemble Rev	REV→FLG	フランジャーを使って暖かみのあるサウンドを出したショートリバーブです。ストリングスやオルガン等にどうぞ。
21	Chorus Reverb	REV→CHO	コーラスをかけて重厚な感じをだしたホール系リバーブです。ピアノ系やパッド系にどうぞ。
22	Slapped Echo	ECHO→REV	アナログディレイやテープエコーの感じを出したいときにどうぞ。ソロ楽器やボーカル向きの音色です。
23	Flutter Hall	REV→GATE	プリディレイの長いホール系のゲートリバーブです。
24	Kick Gate	REV→GATE	バスドラム用のホール系ゲートリバーブです。
25	Snare Gate	REV→GATE	スネアドラム用のホール系ゲートリバーブです。

ROOM

プログラム No.	タイトル	エフェクト タイプ	内　容
1	Large Room 1	REVERB	固い壁のラージルームをシミュレートしました。少し個性的な分厚いサウンドです。
2	Large Room 2	REVERB	Large Room 1よりもすこしドライなルームサウンドです。
3	Live Gate Room	REVERB	かなりライブなノンリニア系のルームサウンドです。ドラムやギター等にどうぞ。
4	Live Room 1	REVERB	ライブな感じのルームサウンドです。音源に遠い感じを出したいときには Live Room 1を、近い感じを出したいときはLive Room 2をお勧めします。
5	Live Room 2		
6	Bath Room	REVERB	バスルームのシミュレーションです。
7	Medium Room	REVERB	ミディアムサイズのレコーディングスタジオをイメージしたライブなサウンドです。
8	Garage	REV→GATE	ガレージの中で演奏しているようなイメージのサウンドです。
9	Ring Studio	REVERB	高域の響きを強調した小さなスタジオをイメージしたノンリニア系のサウンドです。
10	Empty Store	REVERB	なにも置いていない部屋の感じをシミュレーションしてみました。
11	Add to Dry Mix	REVERB	ドライな2chミックスソースをライブサウンドにするルーム系リバーブです。
12	Heavy Bottom	REVERB	低域を強調したパワフルなルームサウンドです。
13	Bright Room 1	REVERB	初期反射音の多いブライトなルームサウンドです。
14	Bright Room 2	REVERB	Bright Room 1より小さめのしかしより密度の濃いスモールルームサウンドです。
15	Small Room	REVERB	スタンダードなスモールルームのシミュレーションです。
16	Tiny Gate Room	REVERB	すこしデッドなノンリニア系のスモールルームサウンドです。
17	Wood Room	REVERB	暗くデッドなスモールルームのシミュレーションです。
18	Compact Room	REV→DFILT	とても小さな部屋の響きをショートリバーブとダイナミックフィルターで再現してみました。
19	Soft Space	REV+CHO	ショートリバーブにコーラスを加えて軟らかい音色に仕上げてあります。ドラム、ソロ楽器、ボーカルのアンビエンスに。
20	Room Ambience	REVERB	少し粗めのエコールーム系のサウンドです。ボーカルやソロ楽器にどうぞ。
21	Echo Vocal		
22	Tunnel 1	REVERB	長いトンネルの中の響きをシミュレートしたものです。Tunnel 2はTunnel 1より暗い感じになっています。
23	Tunnel 2		
24	Opera	REVERB	大理石で出来た大きな部屋の感じをシミュレーションしてみました。Operaはブライト、Cathedralはダークなサウンドです。
25	Cathedral		

PLATE

プログラム No.	タイトル	エフェクトタイプ	内　容
1	Basic Plate	REVERB	いわゆる鉄板プレートエコーのシミュレーションです。
2	Beauty Plate	REVERB	明るく密度の濃いREV500ならではのプレート系リバーブサウンドです。
3	LA Plate	REVERB	アメリカ西海岸で好まれるブライトで抜けの良いプレートサウンドをシミュレートしました。
4	Delayed Spring	REVERB	かなり長めのプリディレイを持つスプリングリバーブのシミュレーションです。
5	Fat Plate	REVERB	低域を強調した少し粗めのリバーブです。ボーカルやソロ楽器にどうぞ。
6	Light Plate	REVERB	ブライトで軽い感じのプレートサウンドです。
7	Thin Plate	REVERB	薄い鉄板で出来たプレートエコーを想定してプログラムしてみました。
8	Rev with Tail	REVERB	INPUT MODEをL-MONOに設定するとサブリバーブの余韻(Tail)がついた複雑なサウンドになります。
9	Short Plate	REVERB	短くて少し暗めのプレートリバーブです。
10	Perc. Plate 1	REVERB	短くてブライトなパーカッション用のプレートリバーブです。テンポによりPRE DELAYを調節してください。
11	Perc. Plate 2	REVERB	かなり軽い感じのショートリバーブです。シンバル系に最適です。
12	Long Plate 1	REVERB	長めのプレートリバーブです。3つともそれぞれ高域成分に特徴があります。
13	Long Plate 2		
14	Long Plate 3		
15	Vocal Plate 1	REVERB	ボーカル用のプレートリバーブです。バラード等のテンポの遅いものにどうぞ。
16	Vocal Plate 2	REVERB	Vocal Plate 1よりも暗い感じのリバーブです。
17	Vocalese	REV+CHO	リバーブに薄くコーラスがかかっています。ギターやキーボードにどうぞ。
18	Live Plate	ECHO→REV	エコーとリバーブのコンビネーションです。ライブ／コンサートのときボーカルやソロ楽器に使うと効果的です。
19	Industrial Rev	REVERB	低域をカットした短めのプレートリバーブです。アナログのリズムマシンなどに効果的です。
20	Strings Space	REVERB	かなり長めのリバーブタイムのプレートリバーブです。Strings Spaceは帯域の広い明るいサウンドで、Caveは低域成分の多い暗めのサウンドです。PAD系の音色にどうぞ。
21	Cave		
22	Super Long	REVERB	INPUT MODEをL-MONOに設定するととても長い余韻のついたプレートリバーブになります。
23	Mod Plate	REV→SYM	シンフォニックエフェクトのかかったリバーブです。ギターやキーボードにどうぞ。
24	Water Reverb	REV→FLG	かるくフランジャーのかかったロングリバーブです。ギターのアルペジオなどに使うと美しいサウンドになります。
25	Gate Plate	REV→GATE	ゲートを使ってエンベロープを作ったプレートリバーブです。スネアドラム等にどうぞ。

SPECIAL

プログラム No.	タイトル	エフェクトタイプ	内　容
1	Flange Room	REV→FLG	ショートリバーブとフランジャーのコンビネーションです。オルガンやストリングス等にどうぞ。
2	Reverb Chorus	REV+CHO	ショートリバーブとコーラスのコンビネーションです。Chorus Circlesは、PRE DELAY を長くすることによってリバーブとコーラスの分離感を強くしてあります。キーボードやギターにどうぞ。
3	Chorus Circles		
4	Rez Sweep Hall	REV→RESO	入力レベルで共振ポイントの変化するフランジャーのようなエフェクトです。
5	Shadow Reverb	REV→RESO	Eの音に共振ポイントをもったリバーブです。
6	Sweep Reverb	REV→FLG	リバーブフランジのバリエーションです。6〜9に行くにしたがってだんだん効果が派手になります。
7	Rev Flange 1		
8	Rev Flange 2		
9	Heavy Flange		
10	Pan Reverb	REV→TRM	リバーブトレモロのバリエーションです。10〜14に行くにしたがってトレモロスピードが速くなります。また、Shake Shake, Sample & Holdは変調波形に矩型波を用いて派手な効果になっています。曲に合わせてトレモロスピードを変えてご使用ください。
11	Rev Tremolo		
12	Skinny Plate		
13	Shake Shake		
14	Sample & Hold		
15	Pan Feedback	ECHO→REV	入力の定位が中央から離れるにしたがってフィードバック量が増えるエフェクトです。INPUT MODE = STEREOでどうぞ。
16	Long Echo	ECHO→REV	リピートディレイとショートリバーブコンビネーションです。
17	Dyna Filter 1	REV→DFIL	入力レベルに応じて音色の変化するエフェクトです。ドラムの音を入力するとまるでシンセサイザードラムのような音に変化します。Dyna Filter 1はフィルターのディケイを長めに設定し、Dyna Filter 2は短めに設定してあります。また、Dyna Filter 3はResonatorを使って1, 2とは違った効果を出しています。
18	Dyna Filter 2		
19	Dyna Filter 3	REV→RESO	
20	Backward	REV→CHO	リバースゲートっぽい効果をねらったエフェクトです。ドラムやギターなどにどうぞ。
21	Industry	REVERB	プリディレイとE/Rディレイを最大にして独特の効果をねらったスペシャルエフェクトです。
22	Natural Gate	REV→GATE	ゲートリバーブのバリエーションです。必要に応じてホールドタイムやゲートレベルを変えて使うと効果的です。
23	Drum Fizz Gate		
24	Techno Gate		
25	Gate for Loop		

エディットモード

各プログラムをエディットして、オリジナルのプログラムとして使うことができます。本機では、大きくわけて、２つのパラメーターのグループがあり、ひとつは、素早く効果的なエディットを行える「ダイレクトパラメーター」、もうひとつは、さらにきめ細かく緻密なエディットを行うための「インターナルパラメーター」です。

プログラムのエディット

その１：「ダイレクトパラメーター」によるエディット

1. PROGRAMキーを操作してプログラムを選びます。
2. 変更したいパラメーターのPARAMETER EDITコントロールを左右に回します。
3. LCDのタイトル(プログラム名)を表示していた部分がグラフィカル表示に変わり、数量表示の変化とあわせ、設定に応じて変化します。

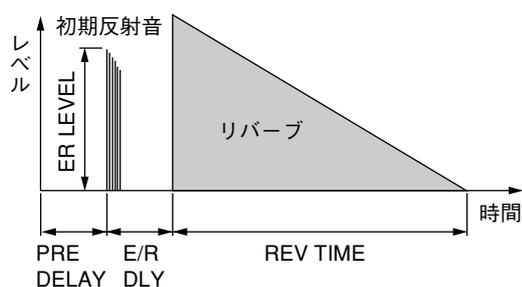
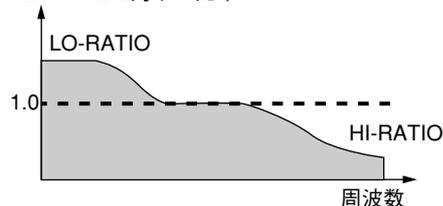
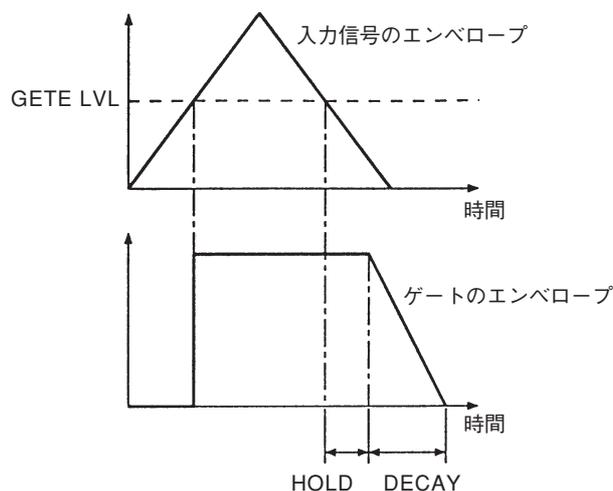
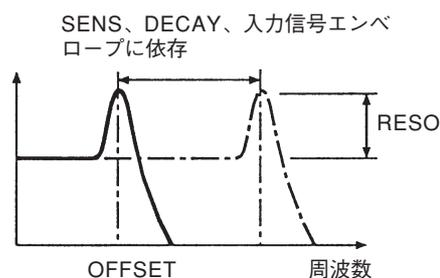
● EFF LEVELをエディットする場合は、EFF LEVELキーを押してインジケーターを点灯させてから、ER LEVELつまみを使います。

※ 数秒間エディットしなかったり、エディット後に各コントロールから手をはなしてから約5秒後に、通常のディスプレイ表示にもどり、エディットモードが終了します。

ダイレクトパラメーターの概要

エフェクトタイプ	パラメーター	可変範囲	内容
全エフェクト共通	PRE DELAY *1	0.0 ～ 200.0 ms *2	初期反射音までの時間
	REV TIME *1	0.3 ～ 99 s	残響時間
	HI-RATIO *1	0.1 ～ 1.0	高域成分の残響時間(REV TIMEに対する比率で表示)
	ER LEVEL *1	0 ～ 100	初期反射音の量
	EFF LEVEL	0 ～ 100	エフェクト全体の音量

*1 REVERBのエフェクト概念図を参照してください。
*2 [ECHO→REV]は0.0～299.9 msです。

(参考) REVERBのエフェクト概念図

(参考) GATEのエフェクト概念図

(参考) DFILT(ダイナミックフィルター)のエフェクト概念図

その2：「インターナルパラメーター」によるエディット

1. UTILITYキーを数回押して、インターナルパラメーターエディット画面を表示させます。

2. PRE DELAYつまみを左に回してカーソルを移動させ、REV TIMEつまみを左右に回してエディットするパラメーターを選びます。

3. PRE DELAYつまみを右に回してカーソルを移動させ、REV TIMEつまみを左右に回してパラメーター値を設定します。

インターナルパラメーターの概要

エフェクトタイプ	パラメーター	可変範囲	内容
全エフェクト共通	LO-RATIO *1	0.1 ～ 2.4	低域成分の残響時間(REV TIMEに対する比率で表示)
	DIFFUS	0 ～ 10	リバーブの拡がり感
	HPF	THRU, 20 ～ 1.0k Hz	ハイパスフィルターのカットオフ周波数(リバーブ音のみ)
	LPF	500 ～ 20k Hz, THRU	ローパスフィルターのカットオフ周波数(リバーブ音のみ)
[REV]	DENSITY	0 ～ 100 %	リバーブの密度
	LIVENESS	0 ～ 10	初期反射音の減衰特性(0:デッド、10:ライブ)
	ER DLY *1	0.0 ～100.0 ms	初期反射音とリバーブの時間差
[REV→GATE]	GATE LVL *2	-60 ～ 0 dB	ゲートが動作するレベル
	HOLD *2	1 ～ 5759 ms	検出レベルがGATE LVL以下になってからゲートが閉じ始めるまでの時間
	DECAY *2	6 ～ 24000 ms	ゲートが閉じ始めてから完全に閉じるまでの時間
	DETECT	PRE, POST	レベル検出のポイント(PRE:リバーブの前、POST:リバーブの後)
[REV→RESO] *3	SENS	0 ～ 10	入力感度
	RESO	0 ～ 100 %	フィードバックレベルの量(レゾナンスをコントロールする)
	DECAY	6 ～ 24000 ms	共振ポイントが最低周波数に戻るまでにかかる時間
	MIX	0 ～ 100 %	レゾネーターに入力された原音とレゾネーターの出力のバランス
[REV→DFILT]	SENS *4	0 ～ 10	入力感度
	OFFSET *4	0 ～ 64	無入力時のフィルターのカットオフ周波数のオフセット量
	RESO *4	0 ～ 20	フィルターのレゾナンス
	DECAY *4	6 ～ 24000 ms	フィルターのカットオフ周波数がオフセットの位置に戻るまでにかかる時間
[REV+DFILT] [REV→CHO] [REV→FLG]	SPEED	0.05 ～10.00 Hz	モジュレーションの速さ
	DEPTH	0 ～ 100 %	モジュレーションの深さ
	FB LVL	0 ～ 100 %	フィードバックさせる量([REV→FLG]のみ)
	MIX	0 ～ 100 %	レゾネーターに入力された原音とレゾネーターの出力のバランス
[REV→TRM]	SPEED	0.05 ～10.00 Hz	トレモロの速さ
	DEPTH	0 ～ 100 %	トレモロの深さ
	PHASE	0.0 ～ 354.4°	L-Rの位相差
	WAVE	SINE, TRI, SQR	トレモロの波形(SINE:正弦波、TRI:三角波、SQR:矩形波)
[ECHO→REV]	FB LVL	-100 ～ +100 %	プリディレイの出力を自チャンネルにフィードバックさせる量
	CROSS FB	-100 ～ +100 %	プリディレイの出力を逆チャンネルにフィードバックさせる量

*1 REVERBのエフェクト概念図を参照してください。

*2 GATEのエフェクト概念図を参照してください。

*3 RESO(レゾネーター)とは、入力レベルで共振ポイントが変化するフランジャーのようなエフェクトです。

*4 DFILT(ダイナミックフィルター)のエフェクト概念図を参照してください。

タイトルの設定

エディットしたプログラムには、名前(タイトル)を付けることができます。

1. エディットの後、UTILITYキーを数回押して、タイトルエディット画面を表示させます。

タイトルエディット画面

カーソル

2. PRE DELAYつまみを左右に回して変更したい文字までカーソルを移動させ、REV TIMEつまみを左右に回して文字を選びます。タイトルは、14文字まで入力することができます。

プログラムの保存

1. エディット後、STOREキーを押します。プリセットプログラムをエディットしていた場合は、自動的にユーザープログラムに切り替わり、「STORE OK ?」の表示とともにプログラムナンバー表示が点滅します。
2. NUMBER ＋/－キーを押して、保存するプログラムナンバーを選びます。
3. もう一度STOREキーを押します。[STORE : done]が表示され、エディットしたプログラムの保存が確定されます。

● エディットしたプログラムは、オリジナルの名前を付けて保存しておくことができます(上記の「タイトルの設定」を参照してください)。

※ 保存されたユーザープログラムやユーティリティで設定した内容は、本機に内蔵された電池で保護されており、電源を切っても消えることはありませんが、電池の寿命がくるとデータは消えてしまいます。大切なデータは、23ページのデータシートに値を控えておくか、他のMIDI機器にバルクデータを保存することをおすすめします。
電池の寿命がくると、LCDに[LOW BATTERY]の表示が出ますので、販売店にバックアップ用電池の交換を依頼してください。電池の寿命は約5年を目安にしてください。

REV500の初期化

次の方法で、本機のすべての設定を工場出荷時の状態に初期化できます。

1. STOREキーを押しながら、電源を入れます。
2. Press [STORE] to initializeと表示された状態で、もう一度STOREキーを押すと初期化が実行されます。

ユーティリティモード

UTILITYキーを押すと、インジケーターが点灯し、本機の様々な機能設定を行うためのユーティリティモードに入ることができます。UTILITYキーを押すごとに、各種の設定画面が呼び出されますから、設定したい機能の画面が表示されるまでキーを押してください。
また、PROGRAMキーのいずれかを押すと、ユーティリティモードを終了することができます。

入出力モードの設定

本機はステレオ仕様ですが、使用状況にあわせてモノラルにも対応することができます。

1. UTILITYキーを数回押して、入力選択画面または出力モード画面を表示させます。

入力選択画面

INPUT SELECT
STEREO

出力モード画面

OUTPUT MODE
EFFECT ONLY

2. REV TIMEつまみを左右に回して、入力選択モードでは“モノラル入力[L-MONO]”か“ステレオ入力[STEREO]”かを選び、出力モード画面では出力端子から“ダイレクト音を付加して出力する[ADD DIRECT]”か“エフェクト音のみを出力する[EFFECT ONLY]”かを選びます。

フットスイッチの設定

1. UTILITYキーを数回押して、フットスイッチ設定画面を表示させます。

フットスイッチ設定画面

2. FOOT SW端子に接続したフットスイッチFC5（オプション）を、“エフェクトのオン/オフ[EFF MUTE]”と“プログラムの選択[PGM SEL：1 - ***]”のどちらに使うかを、REV TIMEつまみを左右に回して選びます。
“プログラムの選択[PGM SEL：1 - ***]”を選んだ場合は、以下手順3の操作を行います。

3. PRE DELAYつまみを右に回してカーソルを移動させ、フットスイッチで呼び出し可能にするプログラムの範囲を設定します。
※ “1 - ***”の値は、17ページのMIDIプログラムチェンジテーブルのMIDIプログラムチェンジナンバーを示します。したがってテーブルの設定のしかたにより、順送り・逆送り・ランダムなど自由な設定が可能です。

AUDITION機能の設定

1. UTILITYキーを数回押して、AUDITION機能設定画面を表示させます。

AUDITION機能設定画面

DEMO TONE TRIG
SNARE SEQ

音源の選択が可能な状態です

2. PRE DELAYつまみを左右に回してカーソルを移動させ、発音させる音源を選ぶか、発音のタイミングを選ぶかを決めます。

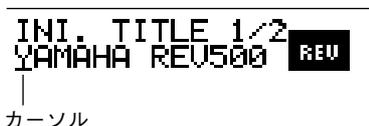
3. REV TIMEつまみを左右に回して、それぞれを選択します。

発音させる音源の選択		発音の選択 *1		
RIM	SNARE	OFF	ONCE	SEQ
リムショット音	スネアドラム音	AUDITION機能のオフ	AUDITIONキーを押すと1回だけ発音する	AUDITIONキーを押すと、もう一度押すまで、継続的に発音する

*1 工場出荷時はONCEに設定してありますが、ライブ/コンサートなど不意にキーが押されて発音されることを望まない場面では、OFFに設定することをおすすめします。

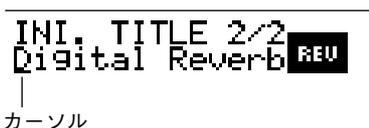
初期画面の設定

電源を入れたときにLCDに表示されるメッセージを、オリジナルのものに設定しておくことができます。(ここで設定したメッセージは、デモンストレーション実行時の初期画面としても表示されます。)

1. UTILITYキーを数回押して、初期画面設定の1/2を表示させます。(1/2では初期画面表示の上段を設定します。)

カーソル

2. PRE DELAYつまみを左右に回して変更したい文字までカーソルを移動させ、REV TIMEつまみを左右に回して文字を選びます。初期画面のメッセージは、14文字まで入力することができます。

3. UTILITYキーを数回押して、初期画面設定の2/2を表示させ、同じように文字を入力していきます。(2/2では初期画面表示の下段を設定します。)

カーソル

MIDIモード

MIDIを使えば、本機のプログラムを外部MIDI機器から選択したり、エディットすることができます。また、膨大なプログラムデータを外部機器にストックしておくこともできます。

MIDIチャンネルの設定

本機は、初期設定では、すべてのチャンネルのMIDIデータを受信するように設定されています(OMINIモード)が、次の手順により設定を変えることができます。

1. UTILITYキーを数回押して、MIDIチャンネル設定画面を表示させます。

MIDI CHANNEL
OMNI MIDI

2. REV TIMEつまみを左右に回して設定します。

OMNI	：	1〜16のすべてのチャンネルを受信し、送信チャンネルは1です。
1〜16	：	設定したチャンネルで送受信します。
OFF	：	MIDI機能をオフにします(送信も受信もしません)。

MIDI OUTの設定

外部機器から受信したMIDIチャンネルメッセージを、本機のMIDI OUTから再び送信する機能(エコーバック)のオン/オフを選択します。

1. UTILITYキーを数回押して、MIDI OUT設定画面を表示させます。

MIDI OUT
ECHO BACK OFF MIDI

2. REV TIMEつまみを左右に回して設定します。“ON”で、本機のMIDI OUT端子をMIDI THRU端子として使うことができます。

※ エコーバックするのは、MIDIのチャンネルメッセージのみです。システムメッセージ(コモン、リアルタイム、エクスクルーシブ)はエコーバックしません。

MIDIプログラムチェンジテーブルの設定

本機のメモリーにはMIDIプログラムチェンジテーブルが入っており、プログラムの順序を並べ替えることができます。外部機器のMIDIプログラムチェンジに対応した、本機のプログラム呼び出しが可能になります。

1. UTILITYキーを数回押して、MIDIプログラムチェンジテーブル設定画面を表示させます。

対応させる本機のプログラム
(この画面ではHALLタイプのユーザー
プログラム1が対応している)

MIDIプログラムチェンジナンバー

2. PRE DELAYつまみを左右に回してカーソルを移動させ、REV TIMEつまみを左右に回して、MIDIプログラムチェンジナンバーと本機のプログラムとの組み合わせを設定します(128種類の組み合わせを設定できます)。

MIDIバルクダンプの送信

本機では、プログラムをはじめとする各種のデータを、外部MIDI機器にダンプ送信することができます。

1. UTILITYキーを数回押して、MIDIバルクダンプ設定画面を表示させます。

2. REV TIMEつまみを左右に回してバルクダンプのタイプを選びます。

ALL	：	すべてのデータ(SYSTEM、PGM、PGM TABLE)を送信します。
SYSTEM	：	システムセットアップデータを送信します。
PGM	：	ユーザープログラムデータを送信します。PRE DELAYつまみを右に回してカーソルを移動させ、REV TIMEつまみを左右に回して送信したいユーザープログラムを選びます。PGM ALLを選ぶと、すべてのユーザープログラムデータを送信します。
PGM TABLE	：	MIDIのプログラムチェンジテーブルを送信します。

3. STOREキーを押してバルクダンプを実行します。

仕　様

一般仕様

電気的特性

周波数特性	20Hz〜20kHz（0+1.0, -2.0dB）
ダイナミックレンジ	96dB Typical
歪率 *1	0.03%以下（1kHz最大レベル）

入力

チャンネル数	2（電子バランス）
定格入力	+4/-10dB（レベル切り替えSW付）
インピーダンス	20kΩ

出力

チャンネル数	2（電子バランス）
定格出力	+4/-10dB（レベル切り替えSW付）
インピーダンス	150Ω

AD/DA変換

AD変換	20ビット 64倍オーバーサンプリング
DA変換	20ビット 8倍オーバーサンプリング
サンプリングレート	44.1kHz

プログラム

プログラム数	200

フロントパネル

ノブ	INPUT LEVEL、PRE DELAY、 REV TIME、HI-RATIO、ER LEVEL
キー	TYPE、PRESET/USER、ー、＋、 STORE、AUDITION、EFF LEVEL、 UTILITY
ディスプレイ	INPUT LEVEL LED（4セグメント×2）、 LCD、EFF LEVEL LED、 UTILITY LED

リアパネル

コネクター	INPUT L/R（XLR×2、PHONE×2）、 OUTPUT L/R（XLR×2、PHONE×2）、 FOOT SW.（PHONE）、 MIDI IN、MIDI OUT
スイッチ	INPUT LEVEL（+4/-10）、 OUTPUT LEVEL（+4/-10）

電源

100V 50/60Hz

消費電力

11W

最大外形寸法（W×H×D）

480×227.9×45mm

重量

3.5kg

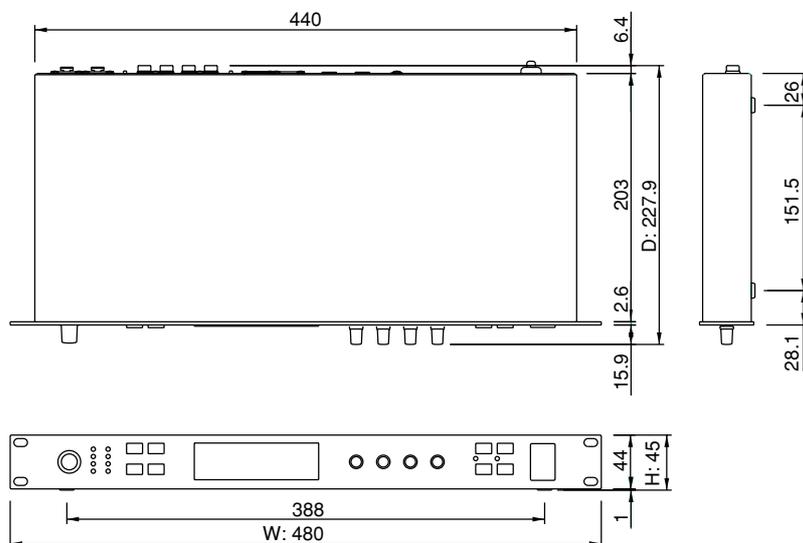
オプション

フットスイッチFC5

*1 歪率の測定にはCD用フィルター（〜20kHz LPF）を使用

◆ 0dB=0.775vrms

◆ 仕様、外観は予告なく変更する場合があります。

寸法図

単位：mm

MIDIデータフォーマット

1. 送信データ

1-1. システムインフォメーション

#1 プログラム・バルクデータ

status	1111 0000(F0H)	System exclusive
ID No.	0100 0011(43H)	YAMAHA
sub status	0000 nnnn(0nH)	n = 0 - 15
format no.	0111 1110(7EH)	
byte count	0000 0000(00H)	
byte count	0100 1000(48H)	
	0100 1100(4CH)	“L”
	0100 1101(4DH)	“M”
	0010 0000(20H)	Space
	0010 0000(20H)	Space
	0011 1000(38H)	“8”
	0100 0001(41H)	“A”
	0011 1001(39H)	“9”
	0011 1001(39H)	“9”
data name	0100 1101(4DH)	“M”
program no.	0mmm mmmm	m = 1 - 100
data	0000 dddd	Memory bulk (62 bytes)
	:	
	:	
	0000 dddd	
check sum	0eee eeee	
EOX	1111 0111(F7H)	End of exclusive

#2 プログラムチェンジ表・バルクデータ

status	1111 0000(F0H)	System exclusive
ID No.	0100 0011(43H)	YAMAHA
sub status	0000 nnnn(0nH)	n = 0 - 15
format no.	0111 1110(7EH)	
byte count	0000 0010(02H)	
byte count	0000 1010(0AH)	
	0100 1100(4CH)	“L”
	0100 1101(4DH)	“M”
	0010 0000(20H)	Space
	0010 0000(20H)	Space
	0011 1000(38H)	“8”
	0100 0001(41H)	“A”
	0011 1001(39H)	“9”
	0011 1001(39H)	“9”
data name	0101 0100(54H)	“T”
bank no.	0000 0001(01H)	
data	0000 dddd	Program change data (256 bytes)
	:	
	:	
	0000 dddd	
check sum	0eee eeee	
EOX	1111 0111(F7H)	End of exclusive

#3 システムセットアップ・バルクデータ

status	1111 0000(F0H)	System exclusive
ID No.	0100 0011(43H)	YAMAHA
sub status	0000 nnnn(0nH)	n = 0 - 15
format no.	0111 1110(7EH)	
byte count	0000 0000(00H)	
byte count	0100 1100(4CH)	
	0100 1100(4CH)	“L”
	0100 1101(4DH)	“M”
	0010 0000(20H)	Space
	0010 0000(20H)	Space
	0011 1000(38H)	“8”
	0100 0001(41H)	“A”
	0011 1001(39H)	“9”
	0011 1001(39H)	“9”
data name	0101 0011(53H)	“S”
	0010 0000(20H)	Space
data	0000 dddd	System setup memory (66 bytes)
	:	
	:	
	0000 dddd	
check sum	0eee eeee	
EOX	1111 0111(F7H)	End of exclusive

#4 パラメーターチェンジデータ

status	1111 0000(F0H)	System exclusive
ID No.	0100 0011(43H)	YAMAHA
sub status	0001 nnnn(1nH)	n = 0 - 15
format no.	0001 1110(1EH)	
device code	0000 0110(06H)	REV500
parameter no.	0000 pppp	*1)
	0000 pppp	
data	0000 dddd	parameter data (4 bytes)
	0000 dddd	
	0000 dddd	
	0000 dddd	
EOX	1111 0111(F7H)	End of exclusive

#5　カレントバッファ・バルクデータ

status　1111 0000(F0H)　System exclusive
ID No.　0100 0011(43H)　YAMAHA
sub status　0000 nnnn(0nH)　n = 0 - 15
format no.　0111 1110(7EH)
byte count　0000 0000(00H)
byte count　0100 1000(48H)
　0100 1100(4CH)　“L”
　0100 1101(4DH)　“M”
　0010 0000(20H)　Space
　0010 0000(20H)　Space
　0011 1000(38H)　“8”
　0100 0001(41H)　“A”
　0011 1001(39H)　“9”
　0011 1001(39H)　“9”
data name　0100 1101(4DH)　“M”
program no.　0000 0000(00H)
data　0000 dddd　Memory bulk (62 bytes)
　:
　:
　0000 dddd
check sum　0eee eeee
EOX　1111 0111(F7H)　End of exclusive

2. 受信データ

2-1.　チャンネルインフォメーション

#1　プログラムチェンジ

status　1100 nnnn(CnH)　n = 0 - 15
program no.　0ppp pppp　p = 0 - 127

#2　コントロールチェンジ

status　1011 nnnn(BnH)　n = 0 - 15
controller no.　0ccc cccc　*2)
control value　0vvv vvvv　v = 0 - 127

2-2.　システムインフォメーション

#1　プログラム・バルクダンプ・リクエスト

status　1111 0000(F0H)　System exclusive
ID No.　0100 0011(43H)　YAMAHA
sub status　0010 nnnn(2nH)　n = 0 - 15
format no.　0111 1110(7EH)
　0100 1100(4CH)　“L”
　0100 1101(4DH)　“M”
　0010 0000(20H)　Space
　0010 0000(20H)　Space
　0011 1000(38H)　“8”
　0100 0001(41H)　“A”
　0011 1001(39H)　“9”
　0011 1001(39H)　“9”
data name　0100 1101(4DH)　“M”
program no.　0mmm mmmm　m = 1 - 100
EOX　1111 0111(F7H)　End of exclusive

#2　プログラムチェンジ表バルクダンプ・リクエスト

status　1111 0000(F0H)　System exclusive
ID No.　0100 0011(43H)　YAMAHA
sub status　0010 nnnn(2nH)　n = 0 - 15
format no.　0111 1110(7EH)
　0100 1100(4CH)　“L”
　0100 1101(4DH)　“M”
　0010 0000(20H)　Space
　0010 0000(20H)　Space
　0011 1000(38H)　“8”
　0100 0001(41H)　“A”
　0011 1001(39H)　“9”
　0011 1001(39H)　“9”
data name　0101 0100(54H)　“T”
bank no.　0000 0001(01H)
EOX　1111 0111(F7H)　End of exclusive

#3　システムセットアップ・バルクダンプ・リクエスト

status　1111 0000(F0H)　System exclusive
ID No.　0100 0011(43H)　YAMAHA
sub status　0010 nnnn(2nH)　n = 0 - 15
format no.　0111 1110(7EH)
　0100 1100(4CH)　“L”
　0100 1101(4DH)　“M”
　0010 0000(20H)　Space
　0010 0000(20H)　Space
　0011 1000(38H)　“8”
　0100 0001(41H)　“A”
　0011 1001(39H)　“9”
　0011 1001(39H)　“9”
data name　0101 0011(53H)　“S”
　0010 0000(20H)　Space
EOX　1111 0111(F7H)　End of exclusive

#4　パラメーター値リクエスト

status　1111 0000(F0H)　System exclusive
ID No.　0100 0011(43H)　YAMAHA
sub status　0011 nnnn(3nH)　n = 0 - 15
format no.　0001 1110(1EH)
device code　0000 0110(06H)　REV500
parameter no.　0000 pppp　*1)
　0000 pppp
EOX　1111 0111(F7H)　End of exclusive

#5 カレントバッファ・バルクダンプ・リクエスト

status	1111 0000(F0H)	System exclusive
ID No.	0100 0011(43H)	YAMAHA
sub status	0010 nnnn(2nH)	n = 0 - 15
format no.	0111 1110(7EH)	
	0100 1100(4CH)	“L”
	0100 1101(4DH)	“M”
	0010 0000(20H)	Space
	0010 0000(20H)	Space
	0011 1000(38H)	“8”
	0100 0001(41H)	“A”
	0011 1001(39H)	“9”
	0011 1001(39H)	“9”
data name	0100 1101(4DH)	“M”
program no.	0000 0000(00H)	
EOX	1111 0111(F7H)	End of exclusive

#6 プログラム・バルクダンプ

送信データ“プログラム・バルクデータ”と同様です。

#7 プログラムチェンジ表バルクデータ

送信データ“プログラムチェンジ表バルクデータ”と同様です。

#8 システムセットアップ・バルクデータ

送信データ“システムセットアップ・バルクデータ”と同様です。

#9 パラメーターチェンジ・データ

送信データ“パラメーターチェンジ・データ”と同様です。

*1) お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

*2) コントロールNo対パラメーター一覧表

EFFECT	PARAMETER	No
ALL	PRE DELAY	12
	REV TIME	13
	HI-RATIO	14
	ER LEVEL	15
	EFF LEVEL	16
	LO-RATIO	17
	DIFFUS	18
	HPF	19
	LPF	20
REV	DENSITY	21
	LIVENESS	22
	E/R DLY	23
REV→GATE	GATE LVL	24
	HOLD	25
	DECAY	26
	DETECT	27
REV→	SENS	28
RESO	RESO	29
	DECAY	30
	MIX	31
REV→DFILT	SENS	70
	OFFSET	71
	RESO	72
	DECAY	73
REV＋CHO	SPEED	74
REV→CHO	DEPTH	75
REV→FLG	FB LVL*	76
REV→SYM	MIX	77
REV→TRM	SPEED	78
	DEPTH	79
	PHASE	80
	WAVE	81
ECHO→REV	FB LVL	82
	CROSS FB	83

* REV→FLGのみ

YAMAHA [Digital Reverberator]
Model: REV500 MIDI Implementation Chart

Date: 8/26, 1996
Version: 1.0

Function...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changed	x x	1-16, off 1-16, off	Memorized
Mode	Default Messages Altered	x x **************	OMNI off/ OMNI off x x	Memorized
Note Number	 : True voice	x **************	x x	
Velocity	Note ON Note OFF	x x	x x	
After Touch	Key's Ch's	x x	x x	
Pitch Bender		x	x	
Control Change	12 -31 70 - 83	x x	o o	*1
Prog Change	 : True #	x **************	o	*2
System Exclusive		o	o	Bulk Dump
System Common	: Song Pos : Song Sel : Tune	x x x	x x x	
System Real Time	: Clock : Commands	x x	x x	
Aux Messages	: Local ON/OFF : All Notes OFF : Active Sense : Reset	x x x x	x x x x	

Notes: *1 = Depend on effect type.
*2 = For program 1 - 128, REV500 program is selected.

Mode 1: OMNI ON, POLY   Mode 2: OMNI ON, MONO   o : Yes
Mode 3: OMNI OFF, POLY   Mode 4: OMNI OFF, MONO   x : No

YAMAHA REV500 データシート

プログラムタイプ：

No.	タイトル	エフェクトタイプ	PRE DELAY	REV TIME	HI-RATIO	ER LEVEL	EFF LEVEL	LO-RATIO	DIFFUS	HPF	LPF	個別パラメーター			
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															

サービスについて

■保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

■損害に対する責任

この商品(搭載プログラムを含む)の使用または使用不能により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

■調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理に際しては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのかも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

■お客様ご相談窓口

ヤマハＰＡ製品に関するご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へおよせください。

●お客様ご相談窓口:ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター
Tel: 03-5791-7678　Fax: 03-5488-6663(電話受付=祝祭日を除く 月〜金/11:00〜19:00)
E-mail: painfo@post.yamaha.co.jp

●営業窓口

EM営業統括部企画推進室(プロオーディオ)	☎ 03-5488-5472	〒108-8568　東京都港区高輪2-17-11
PA･DMI事業部PE営業部CA営業課	☎ 053-460-2455	〒430-8650　浜松市中沢町10-1

●ヤマハ電気音響製品サービス拠点:修理受付および修理品お預かり窓口

北海道サービスステーション	☎ 011-512-6108	〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50　ヤマハセンター内
仙　台サービスステーション	☎ 022-236-0249	〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7　仙台卸商共同配送センター 3F
首都圏サービスセンター	☎ 03-5762-2121	〒143-0006 東京都大田区平和島2-1-1 京浜トラックターミナル14号棟A-5F
浜　松サービスステーション	☎ 053-465-6711	〒435-0016 浜松市和田町200　ヤマハ(株)和田工場6号館2階
名古屋サービスセンター	☎ 052-652-2230	〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2　ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
大　阪サービスセンター	☎ 06-6877-5262	〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16　ヤマハ(株)千里丘センター内
四　国サービスステーション	☎ 087-822-3045	〒760-0029 高松市丸亀町8-7　(株)ヤマハミュージック神戸　高松店内
九　州サービスステーション	☎ 092-472-2134	〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/CSセンター	☎ 053-465-1158	〒435-0016 浜松市和田町200　ヤマハ(株)和田工場6号館2階

※ 所在地・電話番号などは変更されることがあります。
※ 2002年6月現在

VV15150 R3 1 AP 24
02 07 500 AP Printed in Japan

ヤマハ株式会社